

二三男くんの 未来日記

「勝開橋は70年以上昔と変わらないなあ」
築地場外市場で食べ歩きを楽しんできた二三男くんは、勝開橋にたどり着きました。

勝開橋は、万国博覧会へのメインゲートとして利用するため、当時の最先端の粋を集めて建造されました。万博自体は戦争の激化により中止となりましたが、勝開橋は1940年6月14日に完成しました。

中央が開閉する勝開橋は、完成当時は跳開橋として東洋一の規模を誇っていました。

「でも、今、この橋は跳開してないのか」

ふと、二三男くんは、橋上で白髪のおじさんが隅田川を見下ろしているのを見つけました。おじさんは、二三男くんを見つけると、嬉しそうに微笑みました。

「ようやくやってきたな」

「おじいちゃん、どこかでお会いしましたっけ？」

二三男くんはおじいさんがなぜか懐かしく感じましたが、どこで会ったのか思い出せません。

おじいさんは「君が見た東京23区はどうだった？」と二三男くんに聞きました。

二三男くんは「街は近代的に生まれ変わりましたが、勝開橋のように昔から変わらない風景も残っていて安心しました。そして、23区の区役所の職員がこの街を良くしようと頑張っているの



も、よく分かりました。将来、東京の人口は減少に転じるそうです。でも、焼け野原から立ち上がった23区ですから、きっとこれからの苦難も乗り越えていくのではないでしょうかと語りました。

おじいさんは、優しい微笑みを浮かべて、ウンと頷いていました。

「ああ、おじいちゃんには難しい話ですよ」

「いやいや、そんなことはない。それを聞いて、安心したよ。じゃあ、二三男、そろそろ元の世界に戻って、勉強した経験を生かして、立派な公務員になりなさい」

二三男くんはびつくり仰天しました。

「なぜ僕の名前を？」

「もちろん、知ってるよ。だって、お前は私だから」

「えっ」驚いたショックで二三男くんは隅田川へと落ちていきました。

悲鳴を上げて落ちてゆく二三男くんは、おじいさんが叫びました。

「未来で待ってるぞー！」

不思議なことに、水しぶきを上げて落ちる前に、二三男くんの姿は消えてしまいました。おじいさんはニコニコと微笑みながら、どこへともなく歩き去りました。

元の世界に戻った二三男くんは地方公務員として区役所に勤務して活躍し、おじいさんになつてから勝開橋の上で若き二三男くんと出会うことになるのですが、二三男君は知るべくもありません。それはここだけの秘密です。

1947(昭和22)年から2018(平成30年)にタイムスリップした二三男くんが2年間を掛けて23区を歩き、23区の「人口ビジョン」「総合戦略」を紹介した「二三男君の未来日記」は、これで終了します。4〜5ページでは二三男くんが歩いた2年間の足跡を振り返ります。

二三男くんが23区を歩いた2年間の足跡

2018年

月	区	タイトル	過去	現在	内容
1月	江東区	50万人都市が挑む子育て支援 「こどもは宝」の精神で	 区内工業地帯	 豊洲	二三男くんが70年前の東京からタイムスリップしてきたのは、江東区の豊洲でした。全国初のサテライト保育や、在宅で子育てを支援する「マイ保育園ひろば事業」など、至れり尽くせりの子育て支援に驚かされました。
2月	練馬区	区民との協働で未来をつくる 将来像を共有する「新しい自治」	 農地と畑中街道	 練馬大根引っこ抜き競技大会	みどり豊かな住宅地に都市生活と融合した生きた農業が存在する練馬区。二三男くんは、ねりマルシェやみどりの区民会議など、区民参加と協働を根幹に据えた練馬区のグランドデザインを学びました。
3月	杉並区	自治体間連携で生み出す 新たな選択肢 まちとまちがつながり、 双方が豊かに	 東京高円寺阿波おどり	 東京高円寺阿波おどり	二三男くんは、杉並区の東京高円寺阿波おどりの会場に迷い込みました。静岡県南伊豆町の「お試し移住」や、新たな住まい方の提案など、地方の資源を活かし、区民の生活を豊かにする取り組みに感銘を受けました。
4月	新宿区	誰もが快適に過ごせる、 日本一の賑わい都市を創造 多様性と懐の深さ	 新宿駅東口	 新宿エイサーまつり	全国有数のターミナル駅・新宿駅にやってきた二三男くん。日本一の賑わい都市として発展を遂げた新宿に驚かされました。一方で、自然や文化、歴史、居住など、多様性を持ち、懐の深い街だと知りました。
5月	板橋区	「ものづくりの板橋」の魅力発信で 交流人口増加を 歴史・文化を通じて過去を継承し、 未来を創造	 板橋	 板橋	二三男くんは「板橋」発祥の地を目指して旧中山道を歩きました。加賀藩下屋敷があった地域では、板橋区が史跡公園を整備し、歴史と文化を継承し、「ものづくりの板橋」の魅力を発信しようとしていました。
6月	文京区	多様な主体が支える “おせっかい”の輪 共助の力で 地域社会の課題解決に挑む	 旧文京区役所	 文京区役所	文京シビックセンターの展望ラウンジに上った二三男くん。文京区では支援が必要な子どもに直接支援を届ける「こども宅食」の資金をふるさと納税制度を活用して寄付を募るなど、共助の力で地域社会の課題解決に挑んでいました。
7月	品川区	共助による支え合いで 住み続けたい品川区を 区民や企業、団体等が 協働の精神でまちづくり	 大井町駅前	 大井町駅前	品川区を散歩していた二三男くんは、地域で子どもの見守りを行う「8・3運動」に出会いました。地域の担い手である町会・自治会を区が支援したり、多世代交流施設で子育て支援を行うなど、共助の支え合いが活発な街でした。
8月	千代田区	人とのつながりを持てる街にしたい 新住民が地域に関わる仕組みづくり	 九段下	 九段下	九段下を訪れた二三男くんは、都電が廃止されていて驚きました。千代田区では、人口の社会増による新しい区民が古くからの地域コミュニティーに溶け込めるように、地域の課題を共有する仕組みづくりが行われていました。
9月	台東区	だれもが誇りを持って安心して 暮らすことができるまちへ にぎわいと活力にあふれ、 地方とともに躍進	 上野広小路	 上野広小路	上野は、昔と変わらず元気が繁華街でした。台東区では親が心身をリフレッシュできる「いっとき保育」や、介護予防の「通いの場」など、区民が主役のまちづくりを進める一方、江戸の伝統文化を継承する取り組みも忘れていません。
10月	目黒区	ニーズに応え、住み続けたい 愛着のある街に 区有財産を受け継ぎ、 次世代の希望を叶える	 目黒川(改修工事)	 目黒川	目黒川の桜並木的美しさに感激した二三男くんは、「目黒区に住み続けたい」と区民に思ってもらうため、区有地を活用した保育所整備や、園庭のない保育所から公園に送迎するなど、子育て支援に力を入れていることを知りました。
11月	墨田区	暮らし続けたい、働き続けたい、 訪れたい墨田区に どこよりも素敵で 魅力的なまちを目指す	 清平橋	 大横川親水公園	二三男くんは、かつて大横川が流れていた墨田区の親水公園を訪れました。同区ではすみだ良質な集合住宅認定制度や、三世帯同居・転居支援制度、フロンティアすみだ塾など、魅力的な街を目指した取り組みが進められていました。
12月	世田谷区	地域資源を最大限活用し、 全ての子育て家庭を支援 世田谷版ネウボラで 顔が見える相談・支援体制	 世田谷ボロ市	 世田谷ボロ市	二三男くんは歴史ある世田谷ボロ市を訪れました。人口が急増する世田谷区では、世田谷版ネウボラや産後ケア事業、医療的ケアが必要な子どもの見守りなど、地域資源を最大限活かした子育て家庭の支援に力を入れていました。

2019年

月	区	タイトル	過去	現在	内容
1月	豊島区	“消滅”の指摘バネに 持続発展都市へ果敢に挑戦 まち全体が舞台の 誰もが主役になれる劇場都市へ	 落成時の豊島公会堂	 建設中の Hareza 池袋	かつて豊島区役所があった場所に「Hareza池袋」がオープンすると聞き、二三男くんは驚きます。「消滅可能性都市」と指摘された豊島区は、まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市へと進化を遂げようとしていました。
2月	北区	それぞれのステージで 自分らしく輝けるまちに 多様な人材が集まり育ち、 魅力や価値を創出	 音無橋開通式	 音無橋と音無親水公園	二三男くんは北区の音無橋を訪れました。産前産後のサポートや、女性の就労支援、商店街を活用した「北区まちなかゼミナール」、「トップアスリートのまち」など、多種多様な人材が集まる北区らしい取り組みを展開していました。
3月	江戸川区	地域力と区内連携で 子どもが輝く未来を 食の支援をきっかけに 家庭の課題を解決	 葛西浦	 葛西海浜公園	ラムサール条約湿地に登録された葛西海浜公園を訪れた二三男くん。江戸川区では、子どもの居場所事業や「おうち食堂」「KODOMOごはん便」など、地域力と区内連携で子どもが輝く未来につなげようと努力が続けられていました。
4月	渋谷区	“ちがい”を乗り越え、 多様性をエネルギーに 人と人の壁を取り払い、 共助・共生社会を	 旧渋谷区総合庁舎	 新渋谷区役所庁舎	二三男くんは、渋谷区の新庁舎を訪れ、人と人の壁を取り払い、共助・共生社会を目指す施策を学びました。福祉の固定観念を変えた「超福祉展」や、「子どもテンプル」など、目からウロコの取り組みがたくさんありました。
5月	葛飾区	下町葛飾の潜在能力を活かし、 成長し続ける街に 区独自の教育施策や 公共交通網充実で定住促進	 京成柴又駅付近	 柴又駅付近	新作が製作された映画『男はつらいよ』でおなじみの柴又を訪れた二三男くんは、下町葛飾の魅力堪能しました。葛飾区は、公共交通網の充実や、子どもたちの学力アップの取り組みにより、定住促進につなげようとしていました。
6月	荒川区	「幸福実感都市あらかわ」の 実現を目指して 荒川区民総幸福度と「幸せリーグ」	 汐入地区	 汐入地区	荒川区の汐入地区で「災害に強い街」に感銘した二三男くん。荒川区民総幸福度指標や、健康寿命を伸ばす取り組み、若い世代に防災を学んでもらう「あらBOUSAI」、「幸せリーグ」など、幸福実感都市を目指す施策を学びました。
7月	大田区	IoT と町工場の底力で成長する 地域力・国際都市おおた 大田区全体が新しいものづくり集団に	 蒲田駅西口	 蒲田駅西口	二三男くんは、アーケードの商店街がにぎわう蒲田駅西口を訪れました。3千以上の町工場が集積する大田区では、IoT技術を活用した工程管理システムを支援し、区内企業の受注獲得と利益の拡大を図っています。
8月	港区	総合支所を中心に全国と連携し、 日本を元気に 自治体同士の共存・共栄を目指して	 第三台場	 お台場	お台場を訪れた二三男くんは、臨海副都心の発展に驚きました。港区では、北海道宗谷地域との交流や、芝浦地域での全国連携マルシェなどに加え、5つの総合支所を中心とした全国各地域との連携にも力を入れていました。
9月	中野区	区民参加による開かれた区政へ 対話の力で誰もが暮らしやすい街を	 中野区役所周辺	 中野駅前	二三男くんは、昔と変わらず多くの人たちで賑わう中野駅周辺の商店街を訪れました。基本構想の改定を検討している中野区では、「子育て先進区」の実現や、全ての区民対象の地域包括ケアシステムなどの実現を目指していました。
10月	足立区	空き家の利活用で 魅力的な街を創る 協創プラットフォームで 地域課題を解決	 北千住駅東口	 北千住駅東口	二三男くんは北千住駅東口に降り立ちました。昔ながらの商店街や街並みが残るこの地域には大学が誘致され、若者が増えています。足立区は様々な主体との協創による空き家の利活用で魅力的な街を創ろうと模索していました。
11月	中央区	「輝く未来」と「粋なまち」の実現を 大きな転機を発展につなげる戦略	 日本橋	 日本橋	二三男くんの旅の最後の目的地は、五街道の起点・日本橋。定住人口が回復している中央区では、築地市場移転、選手村の整備、日本橋川の首都高の撤去など、大きな転機を発展につなげる様々な戦略を準備していました。

2020年、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催の年を迎えます。そこで、令和2年1月号からの巻頭特集は、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への23区の取り組み」と題して、聖火リレーが巡回する順に23区の取り組みを紹介していきます。お楽しみに。